御嶽山

概況(平成15年5月)

火山活動は、落ち着いた状態が続きました。

地震活動、噴煙活動は平常時の状態で推移しました。地殻変動に変化はありませんでした。 周辺山麓地域において有感地震がありましたが、火山活動との直接の関連はないと考えられます。

地震活動の状況

火山性地震の発生状況は、18日03時23分に山頂の東南東約10km付近、深さ約7kmを震源とするM(マグニチュード)4.5、最大震度4を観測した地震が発生しました。その後余震が続き、一日当たりの地震回数は18日には145回に達しましたが、その後19日60回、20日26回、21日22回と徐々に減少していきました。これらの地震は、1984年長野県西部地震の余震域で発生したものであり、火山活動との関連はないと考えられます。それ以外は、1日あたり数回と、平常時と変わらない状態で推移しました。(表1、図1~3)、火山性微動は観測されませんでした。

 上旬
 1日
 2日
 3日
 4日
 5日
 6日
 7日
 8日
 9日
 10日
 旬計

 2
 3
 5
 2
 1
 4
 4
 1
 4
 12
 38

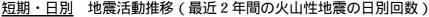
 中旬
 11日
 12日
 13日
 14日
 15日
 16日
 17日
 18日
 19日
 20日
 旬計

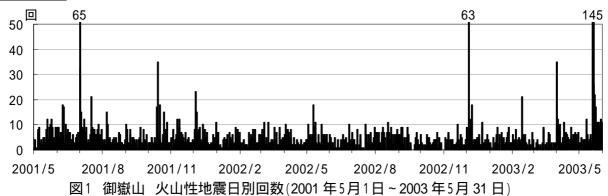
 6
 2
 3
 4
 6
 5
 3
 145
 60
 26
 260

 下旬
 21日
 22日
 23日
 24日
 25日
 26日
 27日
 28日
 29日
 30日
 31日
 旬計
 月計

 22
 17
 11
 8
 11
 9
 11
 5
 12
 11
 3
 120
 418

表1 火山性地震日別回数表(御嶽山A点)





長期・月別 地震活動推移(1989年1月以降の火山性地震の月別回数)

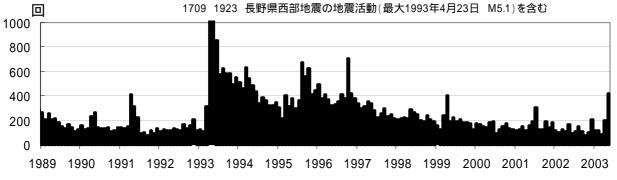


図2 御嶽山 火山性地震月別回数 (1989年1月~2003年5月)

御嶽山

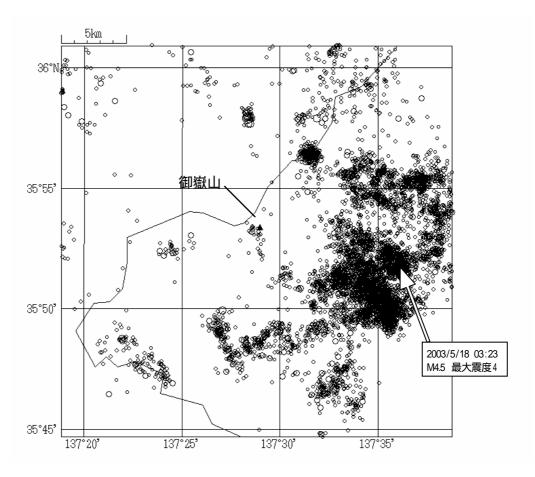


図3 御嶽山周辺震源分布図(1996年1月1日~2003年5月31日)

噴煙活動の状況 遠望カメラによる観測では、視程不良等のため、今期間噴煙は観測されませんでした(図4)。

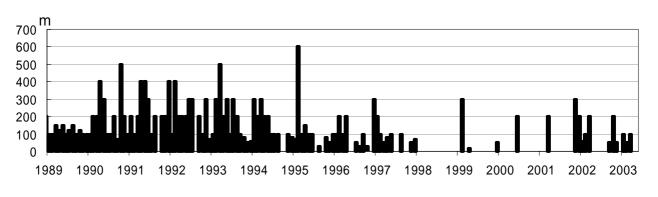


図4 御嶽山 月別最高噴煙高度 (1989年1月~2003年5月)

地殻変動の状況

GPS観測では、火山活動によるとみられる変化はありませんでした(図5 - ~)。

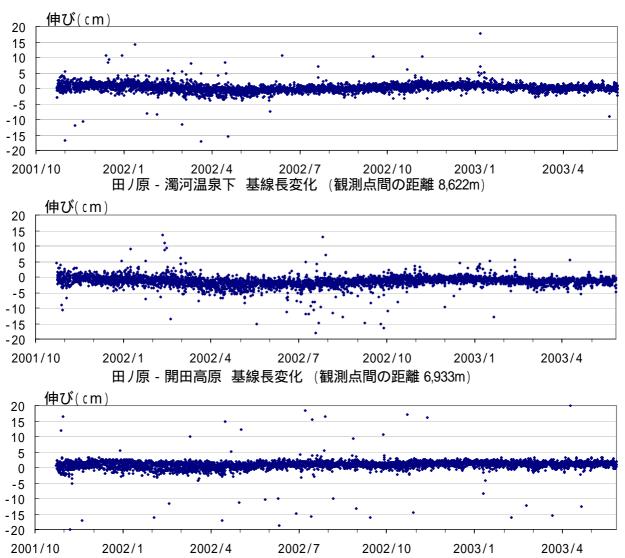


図5 御嶽山 GPS観測結果(2001年10月1日~2003年5月31日)

開田高原 - 濁河温泉下 基線長変化 (観測点間の距離 7,856m)

